

平成18年度

決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人総合研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,893	1,893	0	
施設整備費補助金				
船舶建造費補助金				
施設整備資金貸付金償還時補助金				
補助金等収入	10	18	8	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金				
自己収入	284	292	8	
授業料、入学科及び検定料収入	277	284	7	(注2)
附属病院収入				
財産処分収入				
雑収入	7	8	1	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	20	25	5	(注4)
長期借入金				
貸付回収金				
承継剰余金				
旧法人承継積立金				
目的積立金取崩	50	155	105	(注5)
計	2,257	2,383	126	
支出				
業務費	1,697	1,655	△ 42	
教育研究経費	1,697	1,655	△ 42	(注6)
診療経費				
一般管理費	530	584	54	(注7)
施設整備費				
船舶建造費				
補助金等	10	18	8	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	20	25	5	(注9)
貸付金				
長期借入金償還金				
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金				
計	2,257	2,282	25	
収入－支出	0	101	101	

○予算と決算の差異について

(注1) 補助金等収入については予算段階では予定していなかった科学研究費補助金の間接経費収入増のため予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっております。

(注2) 授業料、入学科及び検定料収入については、入学者増加のため、予算額に比して決算金額が7百万円多額となっております。

(注3) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入等の増加により、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっております。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については予算段階では予定していなかった国の各組織及び民間から受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して5百万円多額となっております。

(注5) 目的積立金取崩額については、平成19年度先導科学研究科新専攻立ち上げに向けて当初50百万円の取崩を予定していたが、さらに同専攻の教育研究に必要な設備・施設改修が必要となったため、予算金額に比して決算金額が105百万円多額となっております。

(注6) 業務費については、教育研究経費において事業の見直し等を行った結果、予算金額に比して決算金額が42百万円少額となっております。

(注7) 一般管理費については予算段階では予定していなかった学内の環境整備および業内容見直しにより、54百万円多額となっております。

(注8) (注1)と同様の理由により、予算金額に比して8百万円多額となっております。

(注9) (注4)と同様の理由により、予算金額に比して5百万円多額となっております。